

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

東京都八丈町 八丈病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	対象	透未訓	救感
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
6,838	4,689	第1種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
52	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	54
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
40	-	40

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
□	令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (他院の病院・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

町立八丈病院は、東京の島々の中で唯一の自治体病院であり、町民はもとより近海を航行する他県からの漁船員や島を訪れる観光客など多くの患者に対処するとともに、伊豆諸島における中核的病院としての役割を果たしている。また、八丈島内には診療所等が少なく、細かな対応が求められる診療所としての機能も担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

②医療収支比率が低い値となっており、一般会計等から多額の補助金を受け入れ①経常収支比率を増加させている。  
入院では④病床利用率が低く、経営悪化の要因となっている。地域包括ケア病床の施設基準を満たせなくなり、無くなってしまったことが④病床利用率が低い要因としてあげられる。再掲の検討を進めているが、さらなる医療職員の確保、業務負担の増加など様々な課題もあり、長期的な視点で検討を進めている。  
外来では、⑥外来患者1人1日当たり収益が平均値より低くなっている。診療報酬制度の変更で、これまで同様の医療サービスでは収益を得られなくなったためと考えられる。患者のニーズを適切に把握し、変更された診療報酬制度へ対応することで、患者1人1日当たり収益を増加させつつ、患者数を増加させ、収益を増加させる必要がある。

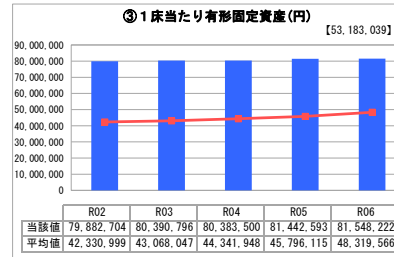
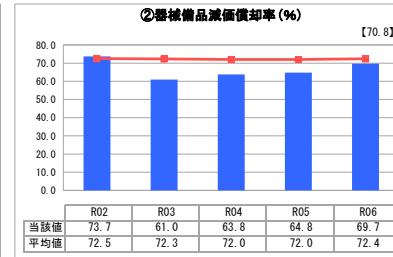
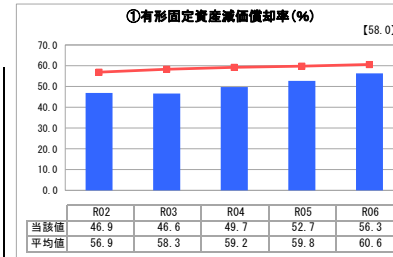
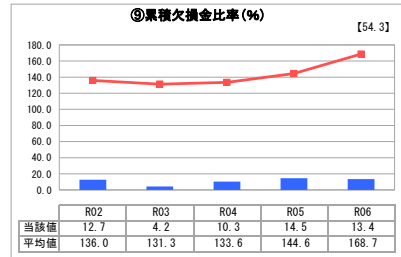
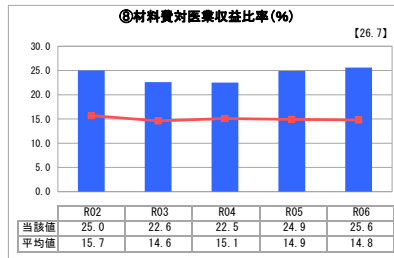
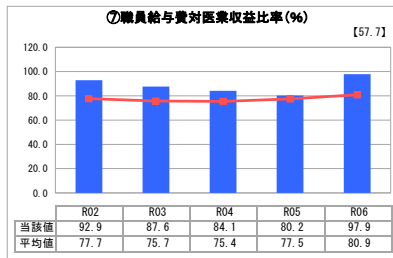
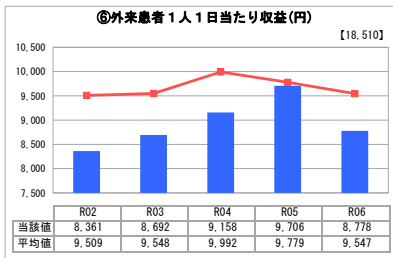
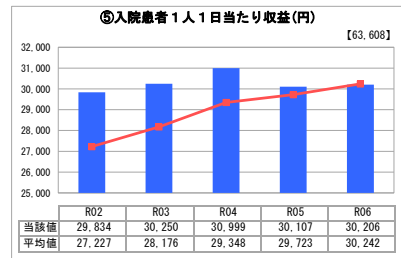
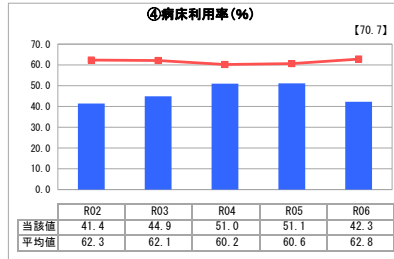
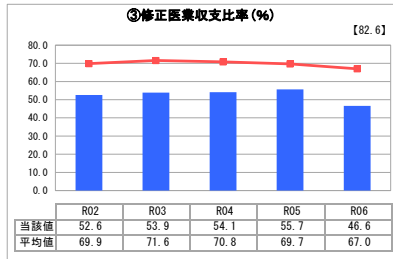
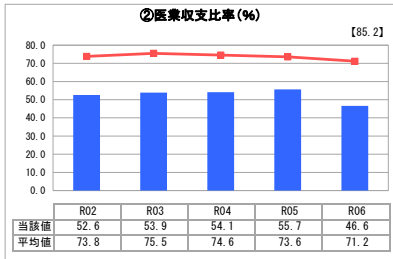
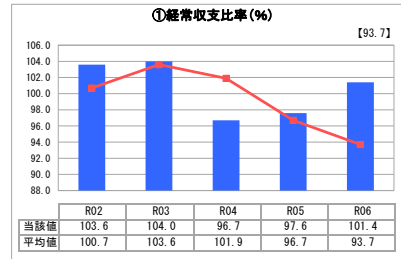
### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は平均値をやや下回っており、計画的に医療機器等の更新が進んでいる。  
③1床当たり有形固定資産は、平均値を大きく上回っている。近隣に病院がいたため、医療機器などを同規模病院以上に揃える必要があり、高くなっていると考えられる。医療サービスが低下しないように考慮しつつ、過大な投資をせず、当該数値を減少させる必要がある。

### 全体概括

近年の職員給与の増加や物価高騰の影響は大きく、費用は極端に増加しているが、離島における公立病院が果たす役割を踏まえ、安全・安心な医療の提供を行うとともに、収益を増加させ、持続可能な経営基盤を構築する必要がある。  
質の高い医療サービスを提供することで、患者一人当たりの収益を増加させるとともに、患者の満足度、病床利用率の向上を目指す。

## 1. 経営の健全性・効率性



※1類似病院平均値(平均値)については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。